

# 南中学校と早野中学校の学校再編について

令和5年4月

茂原市教育委員会では、茂原市小中学校の再編に関する基本的な考え方を示した茂原市学校再編基本計画(平成29年3月策定)に基づき、学校再編を進めています。南中学校と早野中学校の学校再編については、学識経験者や自治会、教育関係者等で構成される「茂原市学校再編審議会」において、様々な見地から審議をしていただくとともに、保護者や住民との話し合いを重ね、令和4年1月に「茂原市学校再編第二次実施計画」を策定しました。本計画において、南中学校と早野中学校の統合時期を令和8年4月1日と定め、その後も地域での話し合いや説明会を開催しています。

## 1 経過及び今後の予定

令和4年9月に、南中学校、早野中学校及び進学先が変更となる五郷小学校のPTA役員、教職員並びに五郷地区及び鶴枝地区の自治会長連合会役員の代表者と「五郷地区学校再編に関する話し合い」を行ったところ、統合についてさらに保護者や地域に周知してほしいとのご意見をいただいたため、令和5年1月、2月に五郷小学校と南中学校で説明会を開催しました。

今後は、各学校・地域の代表者とさらに協議を進めてまいりたいので、各団体から代表者2名を選出していただきたいと思いますと考えております。

## 2 南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会の概要

会場	日時	参加者
五郷小学校	令和5年1月28日(土曜日) 10時から	49人
南中学校	令和5年2月3日(金曜日) 19時から	23人

### <主なご質問・ご意見>

- 統廃合は致し方ないことだと思っているので、早めに情報を提供してほしい。
- 南中学校の土砂災害に係る安全対策の検討状況や通学路の整備計画を知りたい。
- 今後、子供たちがしっかりした教育環境の中で学校生活を送ってほしいと願っている。令和8年4月にきちんと南中学校に入学できるように、市、学校、保護者、住民がスクラムを組んで進めていただきたい。

※「南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会」の会議概要や配布資料は、教育総務課ウェブページで公開しています。



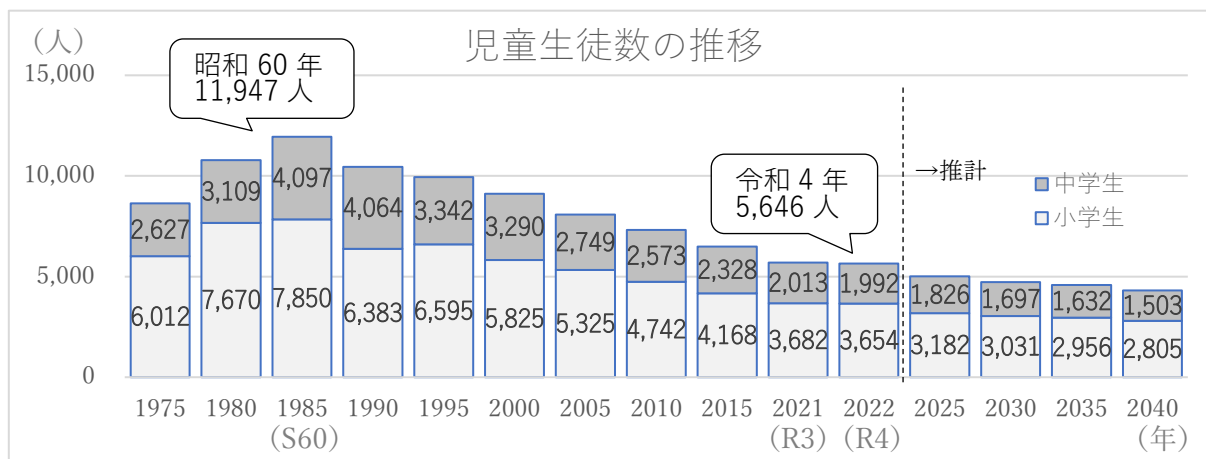
お問い合わせ	茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室
	電話：0475-20-1557 FAX：0475-20-1607

# 南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明資料

## 1 茂原市の学校再編

### (1) 児童生徒数の推移

令和4年5月1日現在の茂原市内の児童生徒数は、5,646人です。これは、昭和60年頃の約半数となり、市内の小中学校では小規模化が進んでいます。



※2025年以降は「茂原市人口ビジョン」で各種施策を実施する前の数値（基礎数値）より推計  
※茂原市学校再編第二次実施計画（令和4（2022）年1月策定）より抜粋（2022年の値を追記）

### (2) 茂原市立小中学校の適正規模

茂原市教育委員会では、学校教育法施行規則を基に、平成27年3月の教育委員会会議で本市における小中学校の適正規模を「小学校は12～18学級、中学校は9～18学級」と決めました（ただし、特別支援学級の学級数は除く）。

- 小中学校ともにすべての学年においてクラス替えを可能とする。
- 学習活動の特質に応じて学級を超えた集団の編制ができる。
- 同学年に複数教員を配置できるようにする。
- 中学校では、教員の免許外指導をなくし、すべての授業で教科担任による学習指導を行うことができる。

### (3) 学校再編に関する方針及び進捗状況

茂原市学校再編基本計画では、学校再編の基本方針として、適正規模の維持、再編後の教育施設等の充実、通学手段・安全性の確保や、学校規模ごとの基本的な方向性として、全体の学級数に応じた進め方を決めました。また、本計画に基づき、具体的に学校再編を進めるため、平成30年3月に茂原市学校再編第一次実施計画（計画期間：平成29年度から令和2年度まで）を策定し、これに基づき、令和2年4月1日に西陵中学校と富士見中学校が統合、令和3年4月1日に二宮小学校と緑ヶ丘小学校が統合しました。

## 2 茂原市学校再編第二次実施計画

### (1) 計画の概要

第二次実施計画（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）は、再編の内容として、本納小学校と新治小学校の統合、本納小学校と豊岡小学校の統合、南中学校と早野中学

校の統合を定めています。なお、令和5年4月1日に本納小学校と新治小学校が統合し、新たな本納小学校として学校生活が始まりました。

(2) 南中学校と早野中学校の統合（第二次実施計画より）

<b>統合時期</b>	令和8年4月1日	<b>使用校舎</b>	南中学校
<b>通学区域</b>	現行の両中学校区を合わせた区域		
<b>検討事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害に係る安全対策の検討</li> <li>・通学路の整備</li> <li>・早期統合の検討</li> <li>・統合に関する準備委員会の設置、協議 など</li> </ul>		

早野中学校は、適正規模を満たしていません。今後も生徒数が減少し、将来全学年が単学級になることが見込まれます。また、五郷小学校と1小1中の関係にあり、生徒数の減少が見込まれる中、友人関係が固定化するなどの課題や部活動の状況に鑑みても早期の解消が望ましいため、令和8年4月1日に南中学校と統合するものとします。校舎については、南中学校を使用します。また、通学路の整備や土砂災害警戒区域等の指定に伴う安全対策を実施する必要があります。

【今後のスケジュール】

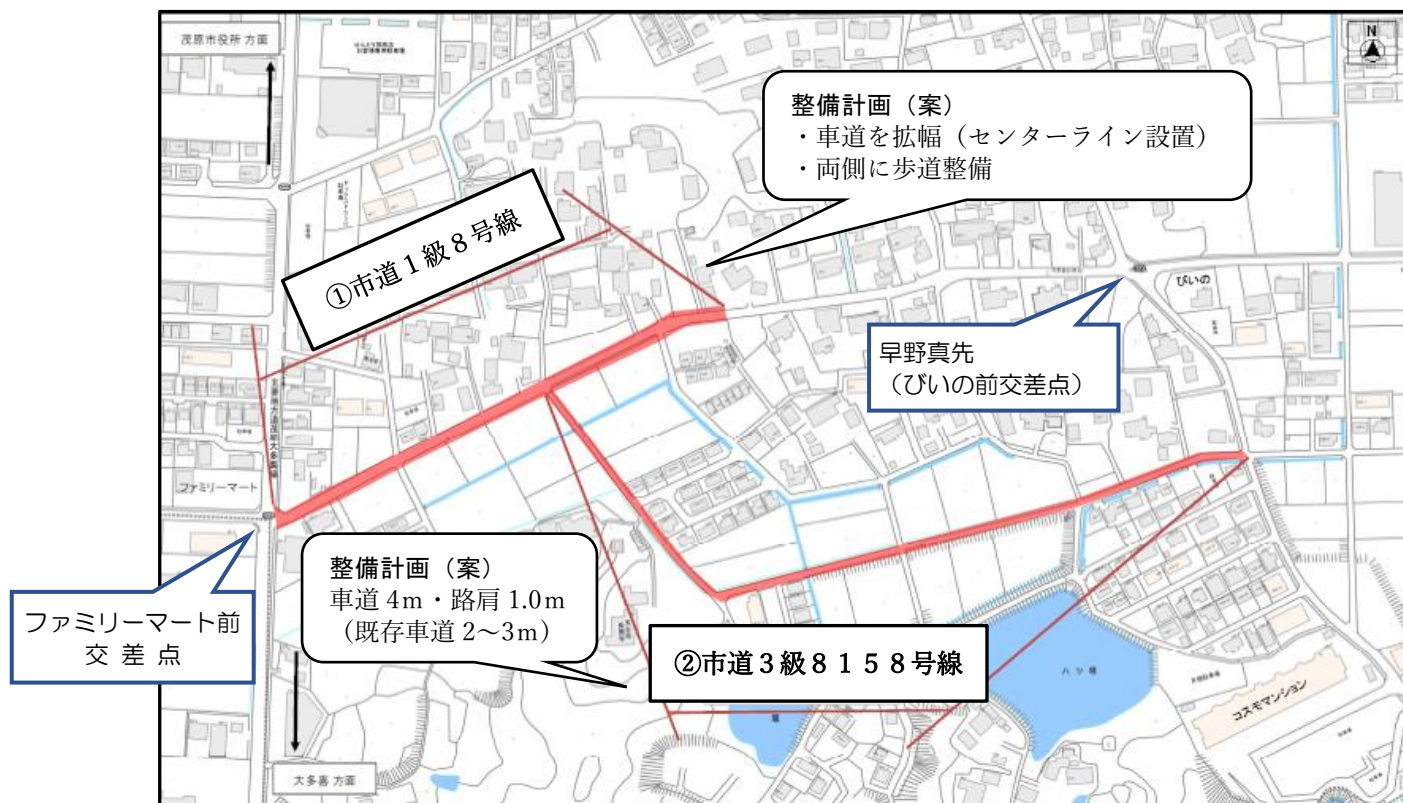
第二次実施計画

次期計画

内容	年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8～ (2026～)
統合準備委員会の設置・協議				→		
通学路の整備		→				
交流事業の実施			→			
統合の実施						● →

3 通学道路の整備計画（案）

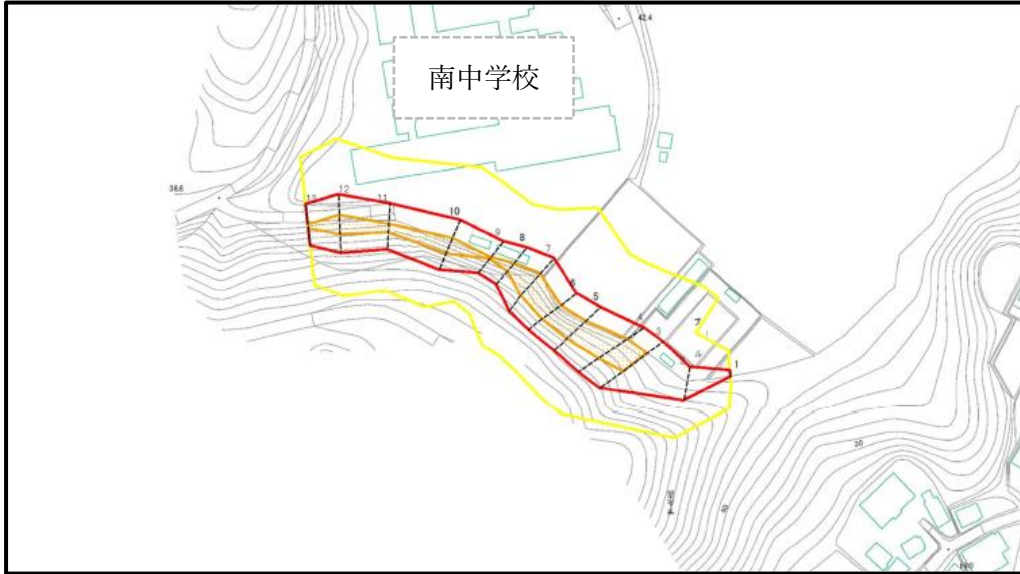
令和4～5年度で用地買収を行い、令和6～7年度での整備工事を目指す計画です。



#### 4 南中学校の土砂災害対策における計画（案）

年 度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
事業予定	測量調査 (完了)	対応策の検討 及び設計	対策工事の実施	

#### 【土砂災害警戒区域等の指定状況】



#### 5 早野中学校の状況

##### (1) 今後の生徒数（見込み）

内容 \ 年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
全校生徒数（人）	135	141	130	130	105	104
学級数 (特別支援学級は除く)	6	6	6	5	4	4

※令和4年5月1日時点の早野中学校及び五郷小学校の在校児童・生徒数より算出

※学級は中学1年次のみ35人編制、2～3年次は38人編制（県の基準）

※見込みの数のため、令和5年度実数値とは異なる。

##### (2) その他

- 音楽科・技術科は教科担当者が授業日のみ勤務して、授業を受け持っています。そのため、生徒が合唱コンクールや学校行事等で専門的な指導を受けたいときに勤務していないことがあります。
- 職員数が少ないため教科ごとの研修会が成立せず、指導技術の相互伝達が難しくなっています。
- 令和4年度においては、早野中学校では7つの部活動、南中学校では13の部活動が活動しています。また、早野中学校の一部の部活動は部員数が少ないため、他校との合同チームで大会に出場しています。

## 南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会の質疑概要

主な質疑について、概要を記載しています。

茂原市教育委員会

番	質問の要旨	回答の要旨
1	早野中学校ではなく南中学校に移動する理由は。	南中学校の校舎は、教室数が25と多く、早野中学校の校舎より後に建設されている。茂原市学校再編第二次実施計画策定に向け茂原市学校再編審議会で協議し、南中学校を使用校舎とする旨の答申をいただいている。
2	グラウンドの子供たちの声を聞いて、生きがいを感じている。統廃合してしまってよいのかという考え方もあるが、今後はこの地域をどうするのかというところを考えてほしい。	統合を進めていると、同様の御意見をいただく。教育委員会としては、子供たちが多くの友達と色々なことを学び、切磋琢磨できるように進めていかなければならないと思っている。その中で、どうしても学校の統廃合をしなければならないということで、学校再編を行っている。統合後も学校の施設は残して、地域の活性化に繋がるような方向で跡地利用を考えてまいりたい。
3	通学路と土砂災害に係る対策以外に認識している課題はあるか。	通学路と土砂災害については、対策を行っていく。また、統合すると子供たちの環境が変わるため、学校と連携しながら、子供たちがより良い教育環境を享受できるよう進めていきたい。
4	入学するときに、南中学校か早野中学校のどちらに行くか選べると思っている方がいた。統廃合はもう致し方ないことだと思っているので、早めに情報を教えてほしい。	学校選択制について、西陵中学校と富士見中学校の統合時に導入した結果、西陵中では統合時に中学3年生になる2年生が9名、1年生がゼロという状況だった。したがって、適正な学校運営のためには学校選択制を導入せず、統合時に全学年が一緒にいく形が望ましいと考えている。
5	制服やジャージはどうするのか。両校で連携を取っていただき、最初から統一しておいていただけるようなご配慮があると嬉しい。	制服等については、統合準備委員会の設置に伴い（学校間で組織する）学校統合準備会等で話し合いが行われる。例えば統合前に着用していた制服をそのまま使用できるようにするなど、保護者に負担がかからないような方向で話し合いをしていきたいと考えている。
6	令和5年から交流事業の実施とあるが、具体的にはどのようなことを行うのか。	授業や部活動など段階的に進めていただけると学校から伺っているが、具体的には南中と早野中の方で協議を詰めていき、どのようなことができるか検討することとなる。

番	質問の要旨	回答の要旨
7	<p>専門職の先生がいないというお話があったが、全国から集めたらどうか。</p>	<p>早野中学校はクラス数が少ないので授業時数も少なく、県教育委員会から教職員配当の定数が定められているため、全ての教科に教科担当を充てることができない状況である。その中で、授業日のみ講師が充てられ授業を受け持ってもらっている。授業ができないということではないので、ご理解いただければと思う。</p>
8	<p>ファミリーマートとサトペンの交差点について、例えば2車線化するなど、何か具体的な整備計画はあるか。</p>	<p>該当の交差点については、県を中心に交差点改良事業を行っている。今後も用地買収等を行いながら、右折レーンをつけるような整備を予定している。接続する市道もあるので、市も協力していく。</p>
9	<p>どの程度の道路が通学路として適しているというような基準はあるのか。</p>	<p>通学路は教育委員会で指定するものではなく、学校保健安全法に基づいて、保護者と学校で話し合っていたものを通学路としている。その中で、本市では学校を通じて挙げていただいた危険箇所について関係機関と話し合い、対応策を講じている。</p>
10	<p>市道1級8号線について、整備予定箇所より先の「びいの」さんまでの道路整備は予定があるのか。</p> <p>また、整備予定の歩道は具体的にどのようなになるか。用地買収は計画通り進むのか。</p>	<p>整備予定箇所より先の「びいの」さんまでの区間は、測量は終了しているが、今のところ具体的な整備時期は決まっていない。</p> <p>歩道は、歩車道境界ブロックという20センチほどの縁石を両側に設け、車道と歩道を区別する整備を行う予定である。</p> <p>用地買収については、令和4年度時点では面積ベースで約6割程のご協力をいただいている。残りの用地も今後交渉を行い、取得していきたいと考えている。</p>
11	<p>五郷地区から南中に通う子供たちは、市道1級8号線の整備予定箇所を通学路として使用することになるのか。その先の「びいの」さんまでの区間は、統合までに特に整備する必要がないという理解でよいのか。</p>	<p>「びいの」さんまでの区間も危険箇所という形でご意見をいただいているが、市道3級道路の迂回路の整備を対応策としている。今回の統合に伴う通学路の安全確保としては、五郷地区の方が南中に行く場合に最も通るであろうという予測のもと、資料でお示した区間について最優先で整備を進めている。</p>
12	<p>説明の中で、小学校1校に対して中学校1校というのがよくないという話があったが、今度本納で小学校1校、中学校1校にしようと考えているようだ。教育委員会はどのように考えているのか。</p>	<p>学校再編については、単なる数合わせで進めているつもりはない。それぞれの地域の特性に応じて、必要な学校は、児童生徒が少なくなっても残さなければならないと考えており、保護者や地域の方々の意見も踏まえて、子供たちにとって一番よい環境を確保するため、今後も努めていく。</p>

番	質問の要旨	回答の要旨
13	学校は地域との中で様々な行事があり、生徒と交流しながら発展があるが、一貫性のない学校再編が行われると、まちづくりをどのように考えるのかという話になるので、考えながら行ってほしい。	学校が地域の中心地にあり、お祭りなど多様な取り組みが行われてきたのは事実だと思うが、子供たちにとってどのような学校がよいのか、様々な意見を踏まえ考えた結果として、今回統合ということを選択した。地域の結びつきやにぎわいが失われないように、しっかり跡地利用に取り組んでいきたいと考えている。
14	中学校によって、部活動に差があると感じている。今後、地域で色々と活動が選べるような環境になるのか。	部活動の地域移行を進めるよう国からも示されており、本市でも土日の部活動については子供たちが地域の中で活動できるような体制を段階的に整えていく方向性でいる。時間がかかってしまうとは思いますが、子供たちが興味・関心のある運動あるいは文化活動の場が広げられるように整えていきたい。
15	少数派になってしまう早野中の生徒が南中に行ったときに、ケアしてくれる先生方がいる環境を作っていただけなのか。	先生の異動については、学校長も含めて協議しながら県に要望していく。なお、二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合時には、両校の先生方が約3分の1ずつ、他校からの異動が約3分の1といった人事異動だった。
16	いま五郷小学校が9学級となり、適正規模を満たしていないため、統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討することになっているかと思うが、具体的にはどのような検討をしているのか。	西小学校、五郷小学校、鶴枝小学校は、適正規模を満たしていないため、あり方について検討することとしている。ただ、いま具体的にどのような検討かというところまでは至っていない。
17	南中学校の土砂災害対策における計画（案）について、令和4年度に行った測量調査の結果は。	今年度、現地の地形を把握するために現地の踏査、また崖を中心に1.65ヘクタール（面積にして1万6,500平方メートル）の測量を行った。来年度は現地の地質調査を行い、その結果を踏まえて対策を講じるための検討業務を委託する計画である。
18	今後、南中学校、早野中学校及び進学先が変更となる五郷小学校のPTA総会及び五郷地区と鶴枝地区の自治会長連合会の総会で説明を予定していると思うが、もし総会がコロナ禍で書面開催となった場合はどうなるのか。	各会長等にご相談させていただきたいが、今回のような形で多くの皆様に情報を提供するのは難しい状況があると思う。よって、こちらの方から情報を発信し、それに対して何らかのご回答をいただくような形を考えていきたいと思っている。
19	南中学校を建てた当時もこのような地質調査等を行っていると思うが、再度このような調査を行うのはなぜか。	今回は土砂災害警戒区域等に指定されたので、対策を講じるため、主に崖についてピンポイントで地質調査を行うものである。

番	質問の要旨	回答の要旨
20	統合前後の学校における生徒数の変化から成績評価が異なり、進学先の変更や、成績などに問題が生じないのか。	現在の評価は、以前のような集団の中でどのような順位にあるかを見取る評価（相対評価）ではなく、学習指導要領が示す目標をどの程度実現したかの評価（絶対評価）となっている。つまり、生徒自らが達成できた結果が評価として表れる。また、学習や進路については、子供たちが不安を抱かないように支援していく。
21	統合年度に、南中に心のケアを行う専門のスタッフ（出来れば2人）を置いてほしい。	スクールカウンセラーを継続して配置するよう県に要望していく。また、アンケートや面談をとおして子供たちがスムーズに適応していけるよう支援する。

※□で囲んだ番号は、会場に寄せられた意見

<その他のご意見等>

○市として、今後の人口減少にどのように対処していくのか。

○いかに市役所を取り巻く中心部に教育機関を設置していくのか考えて、資金や人を投入するようにしてほしい。

○東部台文化会館や市役所の隣の文化会館もひび割れの状態で放置している。文化教育の茂原市とは言えない。

○令和8年4月にきちんと南中学校に入学できるよう、市、学校、保護者、住民がスクラムを組んで進めていただきたい。